

◆2020年度メンバーに質問◆

Q1: 2020年度で印象的だったことは? Q2: 何か一言お願いします!



ゆーみん
(浜益ベース)

Q1: きむら果樹園でのさくらんぼ収穫。1か月大学と行き来しながら、浜益に滞在して浜益暮らしを堪能しました。
Q2: 浜益ベースは改築してとっても快適になってます! お疲れの時はぜひ一度浜益に〜。



みーる
(プロジェクト
「NINOMIYA」)

Q1: 薪割りの拠点である土場を、重機をいれて大整備したこと。景色が一変した...!
Q2: 2021年度もNINOMIYAの活動は盛りだくさん! 外でのんびりしたい方も、ぜひ遊びに来てくださいね。



結
(RSRオーガニック
ファーム)

Q1: かわいい生き方をした人に会ったこと。
Q2: (2021年度は) 仲間を見つけたい。

＼2021年度もリーダーとして活動します!／



みっちゃん
(環境対策活動
Earth Care)

Q1: やっぱり色んなイベントが中止になったこと。ECとしてはブルーキャンプが大きな救いになりました。
Q2: 1年だけのリーダーだった私ですが、凄く良い経験でした。

◆2021年度メンバーに質問◆

Q1: ezorockに関わったきっかけは? Q2: 今年度の抱負・やってみたいことは?



アキ
(浜益ベース)

Q1: 去年のご縁米プロジェクトをたまたま知り、そこからezorockや浜益を初めて知って素敵な団体だと思って参加しました。
Q2: いろんな人たちが作り上げてきた関係性や活動を守りつつ、自分なりの活動を作っていきたいです。



ごう
(プロジェクト
「NINOMIYA」)

Q1: 何か新しいことを始めたいと思っていたところ、同じ学科のゆーみんに紹介してもらいました。
Q2: NINOMIYAのリーダーとして、デイキャンプ場など新たな活動を軌道に乗せたいです! あといろんな人と関わってみたいです!



まーちゃん
(179リレーションズ)

Q1: 大学の授業でボランティア活動できる所を探していた時にezorockを知りました。

Q2: 色々な地域の活動に参加して、たくさん地域の人とお話したいです!



みっそん
(179リレーションズ)

Q1: 大学のある札幌でできる関係人口に関する活動を探していたら、179リレーションズを見つけました。
Q2: リレーションズセンターが、地域に関わりたい人たちにとって、何らかの意味のある場になってほしいです!

ezorock 年間カレンダー

- 4月**
 - ・ポロクル現場運営(〜10月、札幌市)
 - ・浜益資源調査(〜10月、石狩市)
 - ・フォロアップ研修(〜3月、オンライン)
 - ・つながりがある看護師サポート
- 5月**
 - ・浜益ご縁米プロジェクト
 - ・月に一度は森づくり(〜2月、苫小牧市)
 - ・オーガニックじゃがいもづくり(〜8月、石狩市)
- 6月**
 - ・大雪山国立公園旭岳自然保護活動(〜9月、東川町)
 - ・浜益果樹園お手伝い(〜11月、石狩市)
 - ・地域のお仕事説明会(オンライン)
 - ・薪割り体験(〜3月、石狩市)
 - ・浜益いただきますナイト(オンライン)
 - ・RSRオーガニックファームからのつばやきコラム連載(〜8月、石狩市)
- 7月**
 - ・市町村ナイト「標津ナイト」(オンライン)
 - ・RSRコラボレーショングッズ販売(〜3月)
 - ・月寒ランチ出展(〜1月、札幌市)
- 8月**
 - ・厚真町長期滞在プログラム(〜9月、厚真町)
- 9月**
 - ・支笏湖BLUE CAMP(千歳市)
 - ・石狩浜ビーチクリーン(石狩市)
 - ・NINOMIYAアウトドア研修受け入れ(石狩市)
- 10月**
 - ・ふるさとナイト「室蘭ナイト」(オンライン)
 - ・179RELATIONS RADIO#1(オンライン)
 - ・オーガニックポップコーン収穫(石狩市)
- 11月**
 - ・いぶり自然学校プログラム(苫小牧市)
 - ・浜益果樹園りんご収穫お手伝い(石狩市)
 - ・浜益ベース改築(石狩市)
- 12月**
 - ・ezorock忘年会(オンライン)
- 1月**
 - ・179RELATIONS RADIO#2(オンライン)
- 2月**
 - ・WONDER SNOWまるやま(札幌市)
 - ・浦河森のようちえん(浦河町)
 - ・沼田森のようちえん(沼田町)
 - ・GREENDAY(オンライン)
 - ・支笏湖といと森のようちえん(千歳市)
 - ・新型コロナウイルスの大学生の影響調査(オンライン)
- 3月**
 - ・澄川わくわく広場(〜3月、札幌市)
 - ・おためし地域おこし協力隊(石狩市浜益区)
 - ・森もりキャラバン(苫小牧市)
 - ・179RELATIONS RADIO#3(オンライン)
 - ・森のようちえんキャラバン(鷹栖町・南富良野町)

Rock The Life! ezorock

2021.05
vol.35



2020年度 活動報告レポート

今月の写真
2020年度の活動写真を集めました。

代表の小言

大学は、これから
どうなるのだろうか。

若い人たちの接点を作り出すために、できるだけ大学の授業を持つようにしています。今年も前期は三つの大学で非常勤を、ほかの大学や高校にも授業の「コマをいれたりしたりしながら、講義を行っています。昨年からはオンラインでの授業が基本となり、いろいろやり方を工夫してきました。ですが、私の場合、対面型の授業を作りやすいのですが、どうやってやるかというところが、どうやらそのように考えるのは少数派のようです。実際、私たちが独自に実施した大学生向けのアンケートでは、休学や退学を考慮する理由が、「経済的な問題」以上に、「オンラインでの授業についていけない」「価値を感じない」という意見のほうが上回っていました。これは非常に大きな課題で、教える立場の人たちがどれだけ従来のやり方から脱却できるか、大学のニューノーマル時代に合わせた進化が問われています。

草野 竹史

Rock The Life! ezorock

〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1番7号

TEL/FAX 011-562-0081

E-mail info@ezorock.org

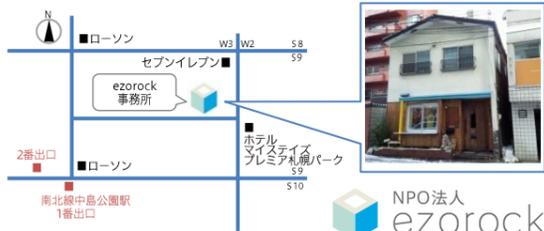
WEB <https://www.ezorock.org/>

<https://www.facebook.com/ezorock/>

<https://twitter.com/ezorock/>

ezorockの
最新情報が届く
公式LINEはこちらから→

<https://page.line.me/ezorock>





新型コロナウイルス感染症が国内・北海道内で拡大してから早1年、

これまでezorock事務所で実施していたミーティングは

Zoomを使用したオンラインへと全面的に移行。

今までのezorockの日常からあらゆる物事が大きく変わりました。

振り返ると、オンラインによる距離を越えた繋がりが多く生み出され、

新たな活動の形や可能性が見えてきた実りの多い1年となりました。

2020年度のezorock総括

新プロジェクトの開始

新型コロナウイルス感染症が感染拡大している中ではありましたが、今年度は「ボラ旅北海道」が「179リレーションズ」に、「浜益リレーションズ」が「浜益ベース」にそれぞれ名称や取り組み内容をリニューアルしました。また、新規プロジェクトの立ち上げに向けた検証として、オーガニックポップコーンのイベントでの販売に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症に関わって、活動を継続的に実施する取り組み、青年層の分断の回避や支援の観点から以下を実施しました。

- ・新型コロナウイルス対策ガイドラインの策定
- ・道内大学生・大学院生を対象とした新型コロナウイルス影響調査
- ・浜益ご縁米プロジェクト
- ・木製知育玩具森のピタゴラス無料レンタル
- ・繋がりのある看護師サポート
- ・地域づくりの現場でのお仕事説明会・相談会



RSRの中止

新型コロナウイルスの影響でezorock設立のきっかけとなったRISING SUN ROCK FESTIVAL (RSR)の中止が5月に発表されました。このことは、ezorockにとって非常に大きい出来事で、これまで中心としていた活動にぽっかり穴が開いてしまいました。RSRが中止にはなりましたが、これまでのRSRの歴史を振り返るコラムの連載や、オフィシャルグッズとしてコースターの販売を行いました。

延期・制限された活動

衛生面を始めとする課題から、石狩体験キッズ「チボロ」乾燥野菜研究所Sumilabは2020年度ほとんど活動の実施が行えませんでした。2021年度は状況を鑑みつつ活動を実施していく予定です。

令和2年7月豪雨支援

被害が大きかった熊本県球磨村、多良木町に子どもたちの居場所づくりとしてNPO法人カタリバが現地支援を実施しました。ezorockはオンラインでのボランティアセンター本部を設置し、現地で活動するボランティアの募集・説明会などを実施しました。これをきっかけとして、NPO法人カタリバの災害時子ども支援プロジェクト「sonaeru」でアライアンスを締結しました。これにより、災害発生時にはスムーズに連携を進めることが可能となりました。

さばーとほっと基金制度を活用したふるさと納税

ふるさと納税と札幌市の「さばーとほっと基金」制度を活用した寄付募集を開始しました。これにより、ezorock指定でふるさと納税をすることが可能になりました。

報道採録

紙媒体

- ・5月19日 北海道新聞(EarthCare)
- ・5月 生物多様性わかもの白書Vol.3 (団体紹介)
- ・6月 社会教育6月号(179リレーションズ)
- ・6月30日 釧路新聞(179リレーションズ)
- ・7月7日 釧路新聞(179リレーションズ)
- ・7月7日 日刊留萌(浜益ベース)
- ・8月28日 日経新聞(NPOインターン)
- ・1月22日 北海道新聞道北版
- ・2月20日 北海道新聞(浜益ベース)
- ・2月26日 釧路新聞(GREENDAY)
- ・3月6日 北海道新聞(浜益ベース)
- ・3月9日 北海道新聞 (浜益おたけし地域おこし協力隊)
- ・3月 地球環境基金額り (179リレーションズ)

ラジオ

- ・3月1日 NHKラジオ「マイあさ！」(浜益ベース)



フォローアップ研修

新規入会者、入会希望者を対象に3ヶ月で計6回の研修事業を新規で開始しました。ezorockの概要やNPO概論、会議の進行方法などの講座を実施しました。

公式LINEアカウント

今まで配信していたメールマガジンから公式LINEによる情報発信を開始しました。2週に1回、最新のezorock情報を配信しており、2020年度は23回配信しました。

いただいたご寄付・助成金

助成金

- ・独立行政法人環境再生保全機構
- ・セブンイレブン記念財団
- ・特定非営利活動法人北海道NPOファンド
- ・一般社団法人北海道青少年育成協会
- ・公益社団法人国土緑化推進機構
- ・一般社団法人北海道総合研究調査会

ご寄付(個人を除く)

- ・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

環境対策活動EarthCare



活動紹介 ごみをツールに「自分の手で問題を解決する」考えを伝えるため、ごみの分別ナビゲートを実施。オーガニックファームでの食の循環をテーマにした活動も行っている。

活動内容 オーガニックファームでの活動12日のべ45人/RSR対談「RSRオーガニックファームからのつぶやき」への出演・運営/イベントでの環境対策2回18人

成果 食の循環に関する知識を得たことで、環境対策活動と食とのつながりを感じられた。「分解ごみ箱」を実用し、来場者に気づきが生まれた。

総括 OFでの作業を通してチーム作りの機会を十分に得られた。BLUE CAMPでは新たな分別基準を以ってナビを実施することができた。来年度は活動参加者を拡大させ、より多くの人にアクションのきっかけを提供したい。(みっちゃん)

プロジェクト「NINOMIYA」



活動紹介 石狩市美登位を拠点として、多様な連携先と共に薪づくりを実施。未利用材から生産した薪は販売まで行っている。薪割りやたき火の体験提供も行う。

活動内容 年間活動日数172日/薪販売量約30立米/就労支援事業所との連携 3件/児童館との連携 16件/企業向けアウトドア研修実施 1回/薪割り体験提供 90人/みなみの杜高等支援学校での授業 6回/木育・おもちゃの広場inコポロパたき火ブース提供 5回

成果 コロナ禍においても福祉事業所との新生産連携の実施やたき火体験の提供、野外研修の受け入れなど新しい活動を展開できた。

総括 人と人の距離が生まれた中で、薪割りやたき火におけるリフレッシュ効果や野外での交流の機会としての価値を再認識できた1年となった。(みーる)

浜益ベース



活動紹介 石狩市浜益区に拠点を構え、都市部に住む若者が宿泊滞りしながら、農業体験や森林資源の活用、地域行事の参加など地域の人と共に活動。

活動内容 ベースの拠点整備 12日/一次産業体験プログラム(果樹園・稲刈り) 36日/資源調査 9日/ご縁米プロジェクト 4日/地域行事参加 4日/その他 19日計 84日のべ268人

成果 活動拠点(浜益ベース)を改修工事し宿泊できる環境が整った。コアメンバーが増え、また活動を通して地域おこし協力隊が出るなど浜益とのつながりが強くなった。

総括 コアメンバーや関わってくれる方が増えたおかげで様々なチャレンジをすることが出来た1年となった。拠点も滞在しやすくなったため、来年度以降の動きも楽しみ。(ゆーみん)

ポロクル



活動紹介 シェアサイクル「ポロクル」のクルーが主体となり、自転車を利用したまちの活性化や自転車問題の解決策を模索。

活動内容 シェアサイクル「ポロクル」の現場運営204日 クルー40人/ 自転車を活用した「新しい生活様式」実践の啓発24日

成果 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年行っている歩行者天国でのイベントを実施することができなかった。その一方で、「新しい生活様式」の啓発をポロクルポードで行うなど、新しい取り組みも実施した。

総括 新型コロナウイルス感染症が拡大しているタイミングで飲食店の休業が続く中、学生の貴重なアルバイト先の一つとして現場運営を実施することができてよかった。(てる)

179リレーションズ



活動紹介 北海道179市町村の、それぞれの地域に関わる入り口をつくることを目的に活動中。地域とつながるオンラインイベントの企画や、活動を発信するWEBサイトを運営。

活動内容 連携地域 13ヶ所/ オンラインイベント 9回 148人参加/ 現地活動 230日のべ363人(長期短期含む/浜益を除く)/ WEBマガジン掲載記事 55本/ インスタグラム 103フォロー

成果 新たなプロジェクトとして始動したこの1年で運営体制を構築。新規メンバーも増え、オンラインを活用したイベントの実施やWEBマガジンの記事編集を行うことができた。

総括 プロジェクトができて、オンラインの力もあり出来ることが大きく増えた1年となった。北海道の地域に関わる「入り口」として、様々な関わり方ができるように、来年度も活動と仕組みづくりを行っていききたい。(たに)

GREENDAY



活動紹介 北海道内外の青年層が集まり、講演会やディスカッション、スキルアップ講座などを通して、「これから」の北海道を考える2日間のフォーラムを実施。

活動内容 GREENDAY2021 2日(全18セッション)のべ138人

成果 初の全面オンライン形式で開催。全国各地から様々な年代の人が集まった。全15セッションの分科会に加え、パンフレットやワークショップで使用するペンを郵送するなど、オンラインならではの企画も実施し今後の可能性を広げることができた。

総括 初めてのオンラインでの開催であったが、早くも来年に期待する声も聞かれた。GREENDAYならではのライブ感やゲストの刺激的な生き方に触れるなど、リアルに近い雰囲気は残しつつ新しい形ができてよかった。(鮎)